



## 『総合学科に期待する』

同窓会会長 中川 喜久夫

全国各地で降雨による自然災害や少年による驚くべき事件等暗いニュースばかりが飛び込んでくる今日この頃です。

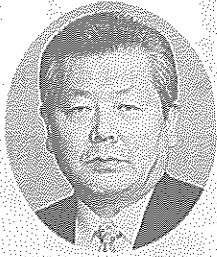
会員各位には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、昨年8月に歴史と伝統のある上市高校の同窓会長に就任いたしまして、はや1年になろうとしています。今後も、母校と同窓会の発展のため一生懸命努めてまいり所存でございますので、皆様方の暖かいご支援、ご尽力を賜るようお願いいたします。

さて、母校・上市高校は創立以来、時代の変遷とともに幾度も変革を経て発展してまいりましたが、本年度から『総合学科』校として新しい出発をいたしました。

県内では小杉高校に次ぐものであり、21世紀を担っていく若者一人ひとりの個性を伸ばすことができるよう、「人文国際」「福祉健康」「情報ビジネス」「自然科学」「グリーン」「スポーツ科学」の新しい時代に即した6つの分野を備え、そこから生徒達が自分の志望する方向を選択し、未来の夢に向かって存分に邁進できるシステムになっております。その成果に私達は大いに期待し、同窓会としても側面からいろいろな面で支援を寄せてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解、ご協力を強くお願いするものであります。

終わりに、第3代同窓会会長として本会の発展に多大のご貢献を賜った故藤原平蔵氏のご冥福を心からお祈り申し上げご挨拶といたします。



## 「総合学科」スタート

富山県立上市高等学校長 新 畑 彬

平成9年度より大学進学等の期待に十分応えることのできる「総合学科単独校」を目指してスタートをいたしました。この総合学科は、本校独自で作り出したものではなく次のような経緯から発足したものであります。会員のみなさんの一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

### 総合学科の創設

第14期中央教育審議会（平成3年）の答申を受けて、文部省では「高等学校教育の改革の推進に関する会議」（平成3年）を設置して専門的な検討を重ね、平成4年から平成5年にかけて四次にわたり報告がとりまとめられた。

この第4次報告で従前からの普通科、専門学科（農業、工業など職業学科）と並ぶ全く新しい第3の学科としての“総合学科”が提唱された。

### 誕生の背景

\* 高等学校への進学率は本県においては98.8%（全国1位）で、全国的にも95%を越え、中学校卒業者のほとんどが高等学校へ進学している。その結果、高校生の能力・適性、興味・関心、進路等が極めて多様化することとなった。このように多様化した個々の生徒が授業や特別活動等、学校生活に興味・関心をもてない場合も生じ、中には中途退学や不登校等、高等学校教育になじむことが難しい生徒も見受けられるようになってきた。

このため、個性尊重の精神にたつて、選択幅の拡大やきめ細かな指導の充実を図るなど、高等学校を多様な生徒を受け入れる教育機関としてふさわしいものに改めていくことが必要になってきた。

\* 普通科では主として進学に対応する教育課程の編成、職業学科においては、専門科目の習得や資格取得の単位確保等の制約があつて、生徒の多様化に十分対応しきれないため、学科の枠組みを越えた新しい発想で、多様な選択科目の開設と、生徒自身による選択幅の拡大の方向を目指す柔軟な教育課程を工夫することが必要になってきた。

\* 普通科においては、就職を含む多様な進路希望を持つ生徒が在籍し、職業学科においても、就職を希望する生徒の他に大学等上級学校への進学を希望する生徒が増加してきたので、これら多様な生徒の進路に応じた指導

が必要になってきた。

また、中学校卒業時に明確な進路目標を持つことには限界もあり、学科選択のミスマッチに悩む生徒がいるなど学科変更や就職・進学に自由に対応できる弾力的な教育方法と自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視することなどが必要になってきた。

\* 中学校卒業生徒数は、かつては1万9千名を越えていたが、平成18年には1万名を割ることが予測されている。このため、現在の学校数を維持するとすれば、小規模校が増加し学校の活力がそがれる恐れがある。

したがって、質的充実を図り、改革・改善を推進し長期的展望に立つた魅力ある学校づくりに努める必要がある。

### 富山県高等学校教育研究協議会の設置（平成5年）

総合学科誕生の背景を十分見極めながら、本県における総合学科の導入について研究協議が行われた。その報告書（平成6年）等を踏まえ小杉高校（平成7年）、本校（平成9年）に開設の運びとなった。全国的にも開設されており平成9年度には本校を含めて74校となっている。

### 普通科、専門学科及び総合学科における履修のあり方の違い

**普通科** 主として国語、数学、英語などの普通科目を履修する。

一般的には、学校の定める教科・科目を全員が共通的に履修する。

**総合学科** 幅広く開設された多様な普通科目及び専門科目の中から、自己の興味・関心に基づき、履修する科目を主体的に選択する。

また、進路への自覚を深め将来の職業生活の基礎となる知識・技術等を修得するため、「産業社会と人間」や「情報に関する基礎的科目」等を原則として履修する。

**専門学科** 主として農業、工業、水産、家庭などの専門科目を履修する。（30単位以上を履修）

一般的には、学校の定める教科・科目を全員が共通的に履修する。

以上のような概要でありますので、詳しくは学校案内やパンフ等取りそろえておりますので、是非ご利用いただき母校発展のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 「総合学科」として生まれ変わる上高

上市高等学校教頭 戸出 吉輝

5年前、30数年ぶりに母校に戻りまばらに花をつける  
老いたる校並木、卒業の年に完成した本館の教室の天井  
の染みをみて、過ぎ去った年月を感慨深く思ったもので  
す。さて、本校は、平成9年度から総合学科単独校とし  
ての第一歩を踏み出しました。普通科・専門学科とは違  
う第3の学科として、平成6年に全国で7校が開校し、  
今年度は74校となっております。総合学科とは、多様化  
する生徒のニーズに応えるために、一人一人の個性と能  
力を伸ばすこと、そして、自分の興味・関心・適性・進  
路に応じた科目を自分で選び学ぶことを基本理念とし  
ています。その為に、選択科目の選択幅を可能な限り広く  
し選べる自由を保障しており、生徒は学びたいことを徹  
底して学ぶことができるようにと教育課程を編成して  
おります。卒業後の進路については、一年で科目「産業社  
会と人間」では、様々な体験学習や討論をとおして、在  
学中に自己の進路への自覚を深める動機付けとして開設  
しています。また、施設では看護福祉実習室や最新のコン  
ピュータ80台を備えた情報処理室が今年度新たに完成

の予定です。これらの特色に魅力をもって入学した新入  
生は、「勤労」「自治」「向上」の校訓のもと元気に学校生  
活を送っております。私自身同窓生の一人として、21世  
紀を見据えた新しい上高づくりに誠心誠意努力いたしま  
すので、同窓生の皆様方のご理解とご協力をお願いいた  
します。

部活動ではボクシング・空手・馬術の活躍が目覚まし  
く共に全国大会への出場権を獲得しております。特に馬  
術は北信越大会で初の優勝を飾り全国大会に駒を進める  
輝かしい成果を取っております。他の部もこれらの活躍  
に刺激を受けて盛り上がりを見せ、2000年国体に向けて  
励んでおります。

尚、平成11年には、本校は創立80年となり、記念事業  
等の準備を進めております。これにつきましては、1万6  
千人に及ぶ同窓生の方々のご支援とご協力をお願いいた  
します。

最後になりましたが、同窓生各位の益々のご健康とご  
発展をお祈りいたします。

## ◇◇◇ 思い出 ◇◇◇

### 卒業50年

富山県立農林学校農業科 第23回（昭和22年3月卒業）

## 戦中・戦後の激動期に学んだ上市農林

大山町教育長 津田 憲一

太平洋戦争も終わりに近づきつつあった昭和19年4月、  
農業科1学年への入学が認められた。ジュートで織られ  
たような国防色の学生服、頭には同じ色の戦闘帽、脚に  
はゲートルを巻き、靴も手に入らず地下足袋を履いて通  
学するような状態であった。1学年の3学期に入ると硫  
黄島での全員玉砕が報せられ、2学年に進級した4月には、  
アメリカ大軍が沖縄本土に上陸し、悲惨な戦いとな  
った。そして、8月15日の敗戦である。まさに、我が国  
がかつて経験したことのない激動の中での学生生活であ  
った。耐乏生活、食糧の増産、国を挙げて懸命の努力が  
なされた。我々も「農は国の本なり」をモットーに、国  
を支えるのは我等の双肩にあるのだ、という気概を持っ  
ていたように思う。したがって、学校での農業実習や丸  
山農場まで歩いての、さつまいも栽培など、多くの勤労  
体験が思い起こされる。加えて昭和19年からは、中等学  
校の男女生徒を「学徒動員」として出勤させる政策がと  
られたために、各農家に泊りながらの農作業奉仕や木工  
工場など幾つかの工場に分散しての作業奉仕に動員され  
た。なかでも、当時、倉垣にあった小さな飛行場の滑走路  
整地のための上運びは大変な重労働であった。特に、作  
業に馴れていない者にとって、学徒動員による労働は苦  
い思い出である。しかし、昨今のように、額に汗する農  
作業を軽視するような風潮を見るにつけ、我々は、いろ  
んな勤労体験を通し、粘り強く生き抜く上農魂を幾分か  
は身に付けることができたのではないかと思っている。

終戦と同時に、軍事的なものは一掃され、学生生活は  
一変した。しかし、物資や食糧の不足は一段と深刻な状  
態であった。教科書は新聞紙のような用紙に印刷された  
薄い物で、2～3か月ごとに配られた。

学習の面では、敵国語ということで軽視されていた英  
語も、長谷川先生の厳しい指導によって、少しずつでは  
あったが、基本的な学習の仕方をも身につけることが  
できるようになった。厳しいという点では国語の大場先生も  
忘れ難い方であった。徒然草の学習を通じ、古典を学ぶ  
ことのおもしろさを感じ取らせて頂いたように思う。

なお、3学年になつての学級担任であった白江外義先  
生「農業経済」の授業、私には非常に魅力的であった。  
卒業後、経済や社会科学の面に関心を持つようになった  
のは先生のお陰と感謝している。

さらに、学生生活の中で、部活動に力を入れることが  
できるようになったことも大きな特色であった。私の場  
合はバレー部に入り猛練習。3学年の8月には、富山県  
排球大会、中等学校男子の部において次勝という成果を  
挙げる事ができた。これもまた上農時代の佳き思い出  
である。

古稀の歳に近い身となつたが、15の春を問われてみれば、  
苦しいことも多かつたように思われるが、青春の夢  
を抱いて通った校の並木と共に、上農時代を慕う気持ちが  
切々として湧いてくるのである。

## 卒業40年

### 人と地域性

実は10年前の「卒業30年」のときに初めて「同窓会」の案内を受けて参加したことを思い出しております。そのときの参加者の中には本当に久しぶり、卒業以来の顔もあり、その中から当時発足間もなかった「同窓会」への加入者が何人もあったことが今に思う大きな“成果”の一つと言え言えるかもしれません。ということは、逆に日頃「同窓会」のことがそれほどあるいは全くといっていいほど頭にないということになるのでしょうか。

これも10年ほど前（もう少し前だったかもしれませんが）のことでしたが、当時上市中学校からソフトボールの女子部員が多数入学し、当校にソフトボール部が創設されるかもしれないという期待もあって、その次の年にもやはり上市中学校から同部員が多数入学したことがありました。ところが学校側はソフトボール部の創設を認めなかったし、同窓会がそれに関わって強くはたらきかけたという話も聞きませんでした。ソフトボールに親し

上市高等学校普通科 第9回（昭和32年3月卒業）

### 平井年應

んでいた私としては大変残念な思いをしたことを今でもはっきりおぼえております。

これは昨年のことですが、6月高岡カントリーCCで行われた「平成8年度富山県高校OB対抗ゴルフ大会」に上市高校OBチームのメンバーとして参加する機会を得、何人かのOBたちと顔見知りになるという幸運に恵まれました。その際にも深く感じたことの一つは、同窓生の良さと同時に同窓会活動への疑問でした。もつともつと同窓会として日ごろのつながりなり活動なりがあってもいいのではないかとしきりに思ったことでした。

学校は、小学校であれ中学校であれ高校であれ、本来地域と密着したものでなければならぬと思うし、人との関係においても、大人と子供の関係においても、地域性というものが非常に大事なのではないのでしょうか。そういう意味においても、わが母校・上市高校が上市の地域ともつと密着していなければと願うこの頃です。

## 卒業30年

### 素晴らしい先生方との3年間

母校を卒業して、はや30年の月日が流れました。3年間という短い期間ではありましたが、自分の人生においては、もつとも思い出深い3年間であり、またいまなお自分を支えてくれている3年間でもあります。

特に印象に残っていることは素晴らしい先生方のもとで「上高時代」を過ごすことができたということです。

いまはお亡くなりになられました英語の上田司郎先生が3年間の担任でした。教科・生活指導において厳しかったことや、卒業後級友と先生宅におしかけ、酔っ払って醜態をみせたことなど、懐かしく思い出されます。先生には滑川高校の副校長先生としての在職された期間部下としてもご心配やご迷惑をかけてしまいました。今後も先生からいただいた「低処高志」の気持ちを忘れず生きていくつもりであります。

また「積小為大」の精神を教えていただいた清水校長

上市高等学校普通科 第19回（昭和42年3月卒業）

### 黒田 明

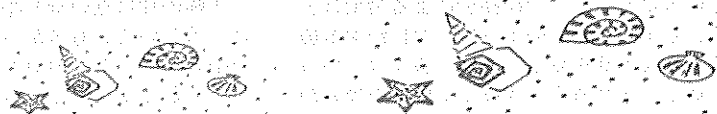
先生や、数学の教師になろうと決意させてもらった山井先生、いつもいろんなことで相談していた若林先生（現窪田様）との出会いも上高時代の忘れ難い思い出です。

当時のアルバムには「青春の喜びは学べること、悩めること、そしてよき師・よき友をもつこと」と書き記しています。

近年、新聞紙上などで野球部、空手部、ボクシング部馬術部などの活躍を拝見し、同窓の一人としてたいへん嬉しく思っております。

剣岳、上市川、三杉公園、桜並木と全国有数の自然に包まれた上市高校は総合制高校に生まれ変わったわけですが、後輩の皆様には、自分の長所を自信にし、輝いて高校生活を送っていただければと思います。

母校の今後益々のご発展をお祈りいたします。



## 卒業20年

上市高等学校農林工学科 第29回（昭和52年3月卒業）

### すばらしき青春の1ページ

室田 清 孝

学生服を着て、毎日通った桜並木の上市高校の正門、放課後のクラブ活動、秋の大運動会、生徒会活動、上市高校の中には私の青春時代の思い出が数え切れないほど詰まっています。卒業して早20年がたってしまったとは月日のたつことの早いことが今更ながら思い知らされます。

私の高校時代の一番の思い出はやはり、3年生で生徒会長をさせていただいたことです。特に、秋の体育大会の思い出が強く残っています。それまでは、各色別の応援用の大絵画を青竹でやぐらを組掲示していたのですが、先生方から竹をやめ建築用のビケを使用してもらえないかと要請があり、私は大反対をして先生方につめよりました。

このとき先生方から今後も今までのようにグラウンドに穴を開け青竹を使用しているのはグラウンドがだめになるばかりである、これから先のことをよく考えてビケを使用してもらえないか、誰かがこれを決断しなければならないということでこの時の第29回体育大会よりビケを使用するようになりました。あのときは、伝統を守り続けていきたい気持ちとでつらい決断でしたが、今に思えば先生方のよきアドバイスのおかげで良い体験をさせていただいたと感謝しております。思い起こせば多々ありますが上市高校は、私にとってすばらしい青春の1ページとなって心に残っている場所です。

## 卒業10年

上市高等学校薬業科 第39回（昭和62年3月卒業）

### 高校時代から

碓 井 聡

私の高校時代は、普通科、農業科、畜産科、農林工学科、薬業科の編成で、私は薬業科に所属しておりましたが、一口に10年といっても長い様でとても短かった様に思われます。さて私の高校時代を思い出して見ますと一番印象に残っていることは、バスケットボール部に入っていたのですが、練習がきつかったということが、一番の私の思い出として浮かび上がってきます。日曜日も休みなして練習していろんな大会に向けがんばって来ましたが、上には上がいるということであまり良い成績は残せなかったが、現状にいたって、社会人としてがんばれるのは、つらい練習をやりとげたことで、自分にとつ

て大きな自信を身につけることが出来たからだと思えます。高校時代3年間は今まで私が生きて来た中で一番いい時だったと今も思っています。部活動だけじゃなく友達とのふれあい、又クラスのみなどと楽しく勉強出来たこと、もう言葉には言いあらわせないほどです。そういう時代を越えて早くも10年がたつて私も今は、一社会人として生活している中で高校時代のすばらしさを、今後も自分の糧としてがんばって行きたいと思えます。最後にこれからの上市高校及び、同窓会の益々の御発展を心から御祈念申し上げます。

